

鞞たる水聲は恰も遠雷の轟くに似たり。

路畔立て下瞰すれば、河中蘆生の洲嶼あり、水色清澄、兩岸の楊柳と相映じて、自ら翠緑を帯ぶ。更に眸を四邊に放てば、遠く喀喇沙爾地方の山野歷々眉宇に聚り、倏ち身は畫中の人と爲る。蓋し索漠たる新疆中、實に得易からざる勝景とす。

烏魯克河は源を阿勒騰塔格嶺の幽谷より發し、西流して毛拉布拉可に至り、北折して車爾成より大戈壁の東南部を東北に流れ、喀喇布朗湖にて塔里木河に會す。

此の河に就ては東西の記録徴すべきもの無く、狀況未だ審ならず。

## 二 伊犁河系

伊犁河は天山北路唯一の大河にして、特克斯、崆克斯、喀什の合流より成る。其内喀什、崆克斯の二河相合するに至り、其れより下流を始めて伊犁河と稱す。伊犁河は伊犁を横貫し、西流遠く露境に入りて巴爾噶什湖に注げり。全流約二百五、六十里、河幅は喀什河の合流點に於て四百九十尺、惠遠城(將軍駐劄地)近傍に至りて五百四五十尺、露領伊犁瑪頭邊に及んで七百尺とし、水深は處々同一ならず、深きは二十尺、淺きは僅に三尺に過ぎず。河水は常に溷濁を呈し、冬期惠遠城附近は約五六十

烏魯克河

伊犁河